

## 旅行アプリ『NEWT(ニュート)』、 2025年最も選ばれたエリア・フライト・ホテルを讃える 「NEWT Award 2025」を発表

円安下でも近距離アジアが堅調、ベトナムは急伸  
一方で旅慣れ層の選択は中長距離エリアへ拡大、ヨーロッパ・ハワイも再び選ばれる旅へ

株式会社令和トラベル(本社:東京都渋谷区、代表取締役:篠塚 孝哉)が運営する、かしこい、おトク、旅行アプリ『NEWT(ニュート)』は、予約データをもとに、2025年に最も選ばれたエリア・フライト・ホテルを発表する「NEWT Award 2025」を公開しました。

2025年のNEWT Awardでは、海外旅行の選ばれ方に二つの軸が同時に進行する“二層化”が見られました。ひとつは円安下でも手頃に楽しめる近距離のコスパ旅が定着し、もうひとつは、アジアで海外経験を積んだ旅行者が、ハワイ・欧州・オセアニアなど中長距離へ価値ある体験を求める動きが再び強まることです。

これにより2025年の海外旅行市場は、「近場で整える旅」と「遠くで広げる旅」という二つのニーズが共存・拡大する一年となりました。

- ◆NEWT Award 2025 特設サイト: [https://newt.net/award?utm\\_medium=pr](https://newt.net/award?utm_medium=pr)
- ◆NEWTへの掲載希望の宿泊施設さまはこちら:  
[https://newt.net/join?utm\\_medium=pr](https://newt.net/join?utm_medium=pr)



## ■2025年の傾向

【エリア部門】近距離アジアが加速、ベトナムが急成長エリアに台頭

2025年は、ソウル・台北・バンコク・シンガポールなど近距離アジアの人気がさらに加速し、円安下でも総額を抑えて海外感を味わえる“コスパ旅”として選ばれました。

なかでもダナン・ホーチミン・ハノイがTOP20入りし、ベトナムが急成長エリアとして存在感を拡大。物価の安定、為替物価指数が100%以下\*といった手頃さに加え、都市とリゾートを一度に楽しめる多様性や航空路線の充実が支持を押し上げました。

一方、欧米・ハワイなどのミドルロングも回復基調が強まり、パリ・ロンドン・ホノルル・シドニーがランクインしました。アジアで経験を積んだ旅行者が「次は遠くへ」と行動を広げたことが表れています。

【フライト部門】LCCとFSCが半数ずつ、使い分けが進む一年に

フライト部門では、LCC(格安航空会社)とFSC(フルサービスキャリア)が半数ずつランクインし、利用傾向の二極化が鮮明になりました。円安下でも海外旅行が本格的に回復し、韓国・台湾・ベトナムなど近距離～中距離路線が伸びたことで、「FSCでも手の届く価格帯」の路線が増えた点も特徴です。

航空会社の選択はエリア傾向と連動し、近距離はLCC、ベトナムなど4～6時間の中距離はFSCが選ばれる傾向が強まりました。路線距離 × 目的 × 価格観に応じた使い分けが進み、旅行スタイルの多様化がさらに拡大した一年でした。

【ホテル部門】都市とリゾートの二極化、国内では高級化ニーズが拡大

ホテル部門では、ホノルルやセブなどのリゾート、ソウル・台北・東京といった都市ホテルの人気がともに高く、目的に応じた“ホテルの使い分け”が進みました。

国内ではハレクラニ沖縄をはじめ、ブルガリホテル東京、バンヤンツリー京都など高級ホテルの支持が拡大。国内旅行における高級化ニーズが一段と強まった一年でした。

こうした結果から、旅行が“特別なイベント”からより身近な体験へ回帰していることが示されました。NEWT Awardは今後も、リアルな利用データを通じて変化し続ける旅行者の価値観を可視化してまいります。

\* 2025年12月2日公開:旅行アプリ『NEWT(ニュート)』×TimeTree未来総研 年末年始の旅行調査レポートを公開(  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000251.000077082.html>)

## ■ランキング発表！

【エリア部門】“近くて良い旅”が主流。短距離アジアが上位、ベトナムが存在感を拡大



 NEWT AWARD 2025

エリア部門では、ソウル(韓国)が昨年に続き1位となりました。近距離で渡航しやすく、物価の手頃さや韓国カルチャー人気が引き続き支持を集めました。2位は台北(台湾)、3位はホノルル(ハワイ)がランクインし、近距離アジアと定番リゾートの強さが際立つ結果となりました。また、ダナン・ホーチミン・ハノイのベトナム三都市が13~15位に揃ってランクイン。旅行単価の手頃さや都市・リゾートを兼ね備えた多様性、航空路線の拡大が評価され、急成長エリアとして存在感を示しました。

さらに、パリ(10位)・バルセロナ(12位)・ロンドン(17位)といった欧洲に加え、ドバイ(16位)やケアンズ(20位)など遠距離エリアもTOP20入り。アジアで旅行経験を積んだ層を中心に、“より遠くへ行く旅”が広がったことが読み取れます。

### 【フライト部門】LCCが強さを発揮、FSCとの二極化が進む



「フライト部門」では、ピーチ・アビエーションが1位を獲得しました。価格競争力と利便性の高さが評価され、若年層を中心に最も利用された航空会社となりました。2位には韓国のLCC ジンエアー、3位には日本を代表するフルサービスキャリアの日本航空が続き、LCCとFSC(フルサービス航空会社)が拮抗する構造が浮き彫りとなりました。

上位には、キャセイパシフィック航空、セブパシフィック航空、チャイナエアライン、大韓航空などアジア系キャリアが多くランクイン。短距離・中距離路線の利用が活発化していることが示されています。

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル PR担当 [pr@reiwatravel.co.jp](mailto:pr@reiwatravel.co.jp) 050-6865-4408

## 【海外ホテル部門】都市の利便性とリゾートの癒やし、両方を求める滞在スタイルが拡大

### 海外ホテル部門

1 ホノルル シェラトンワイキキビーチリゾート	11 台北 リージェント台北
2 ソウル ノボテル アンバサダー ソウル 東大門 ホテルズ & レジデンス	12 ホノルル ザ リッツ カールトン レジデンス ワイキキビーチ
3 ホノルル アラモアナ ホテル バイ マントラ	13 グアム デュシット ビーチ リゾート グアム
4 ソウル ホテルグレイスリーソウル	14 ホノルル ザ・アンバサダー・オブ・ワイキキ・タペストリー・コレクション by ヒルトン (旧ローマ・ワイキキ アット ザ アンバサダー)
5 ソウル クラウンパークホテル明洞ソウル	15 台北 ホテル レゾナンス台北 タペストリー コレクション by ヒルトン
6 ホノルル シェラトン プリンセス カイウラニ ワイキキビーチ	16 台北 シーザーメトロ台北
7 グアム ザ ツバキ タワー	17 ソウル ホテル国都 (旧ベストウェスタンプレミアホテル国都)
8 グアム パシフィック アイランド クラブ グアム	18 セブ Jパーク アイランド リゾート & ウォーターパーク
9 セブ シャングリ ラ マクタン セブ	19 グアム 星野リゾート リゾナーレ グアム
10 ホノルル ハイアット リージェンシー ワイキキ ビーチ リゾート & スパ	20 台北 ミラマーガーデン台北

ニュートアワード  
NEWT AWARD 2025

「海外ホテル部門」では、シェラトン ワイキキ ビーチリゾート(ホノルル)が第1位を獲得しました。抜群のロケーションと高い顧客満足度が評価され、NEWTカスタマーから最も支持されたホテルとなりました。

2位にはノボテル アンバサダー ソウル 東大門、3位にはアラモアナ ホテル(ホノルル)がランクイン。ホノルルとソウルは複数のホテルが上位に入る結果となり、都市観光とリゾート滞在の両方が高い人気を維持していることが伺えます。

グアムやセブのホテルもTOP20内に多数ランクインしており、家族旅行や短期リゾート需要の根強さが浮き彫りになりました。

### 【国内ホテル部門】国内旅行の高級化が進行、プレミアムホテルの支持が顕著に

## 国内ホテル部門

1  ハレクラニ沖縄	11  フォーシーズンズホテル京都
2  アパホテル & リゾート <東京ベイ幕張>	12  グランドメルキュール那須高原 リゾート & スパ
3  ホテル ニューオカオ	13  ザ パーク フロント ホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
4  ブルガリ ホテル 東京	14  ホテル京阪 ユニバーサル・タワー
5  アパホテル & リゾート 横浜ベイタワー	15  コンラッド東京
6  バンヤンツリー・東山 京都	16  アパホテル & リゾート <大阪梅田駅タワー>
7  グランドニッコ東京ベイ 舞浜	17  箱根小涌園 天悠
8  ホテル ヴィラフォンテーヌ グランド 羽田空港	18  沖縄 かりゆし ビーチリゾート オー シャンスパ
9  フサキビーチリゾート ホテル & ヴィラズ	19  成田東武ホテルエアポート
10  ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留	20  オリエンタルホテル 東京ベイ

 ニュートアワード 2025

国内ホテル部門では、ハレクラニ沖縄が圧倒的な支持を集め第1位となりました。高いホスピタリティと特別感のある滞在が評価され、NEWTカスタマーの“憧れホテル”として不動の人気を獲得しています。

2位にはリゾート型大型ホテルの代表格 アパホテル & リゾート(東京ベイ幕張)、3位には長年愛される老舗リゾート ホテルニューオカオ が続き、幅広い価格帯・旅のスタイルで多くの旅行者に選ばれたことが分かります。

また、ブルガリホテル東京やバンヤンツリー京都などのラグジュアリーホテルも上位にランクインし、国内におけるプレミアム滞在ニーズの拡大も顕著となりました。

## ■調査概要

集計期間:2024年12月1日～2025年11月30日の募集型ツアーの取扱額、ホテル取扱額

集計対象:2025年11月30日時点でNEWTで販売中のホテル、航空会社

\* ホテル/航空会社"おまかせ"のツアーは除く

\* 受注型、手配型、団体旅行など募集型ツアー以外の旅行は除く

\* ホテルは、直接契約・パートナー経由など、すべての契約形態を含む

## ◆かしこい、おトク、旅行アプリ『NEWT(ニュート)』

web版 海外ツアー <https://newt.net/>

宿・ホテル <https://newt.net/hotel>

アプリ <https://newt.net/app>

## ◆公式LINE

<https://lin.ee/ZKchfbF>

## ■令和トラベル 会社概要

令和トラベルは「あたらしい旅行を、デザインする。」をミッションに、旅行におけるあたらしい体験や、あたらしい社会価値の提供を目指すデジタルトラベルエージェンシーです。2022年4月より、かしこい、おトク、旅行アプリ『NEWT(ニュート)』を提供しています。旅行業界における予約や管理業務のDXを最大化し、旅行というエクスペリエンスを通じた社会価値の創造に挑戦します。

名称 : 株式会社令和トラベル

所在地 : 東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスター15F

代表者 : 代表取締役 篠塚 孝哉

創業日 : 2021年4月5日

事業内容: 旅行代理店業

登録免許: 第一種旅行業(観光庁長官登録旅行業: 第2123号)

所属協会: JATA(一般社団法人日本旅行業協会)正会員、IATA(国際航空運送協会)公認代理店

会社HP: <https://newt.net/company>

『NEWT』ブランドページ: <https://newt.net/brand>

公式SNS

・LINE: <https://lin.ee/ZKchfbF>

・X: [https://x.com/newt\\_travel](https://x.com/newt_travel)

・Instagram: [https://www.instagram.com/newt\\_guide/](https://www.instagram.com/newt_guide/)

・Threads: [https://www.threads.net/@newt\\_guide](https://www.threads.net/@newt_guide)

・TikTok: [https://www.tiktok.com/@newt\\_travel](https://www.tiktok.com/@newt_travel)

・YouTube: [https://www.youtube.com/@newt\\_travel](https://www.youtube.com/@newt_travel)